



迫園梨央さん



河野雅彦君

県内の小学生がプログラミング作品のアイデアや完成度を競う「第5回みやざきジュニアプログラミングアワード」(宮崎日日新聞社主催)の本選は5日、宮崎市の宮日会館であった。大賞は低学年の部が同市・

県内児童プログラミングアワード

低学年

河野君 (宮大付属 3 年)

高学年

迫園さん (宮大付属 6 年)

大賞

宮崎大付属小3年の河野雅彦君(9)、高学年の部が同6年の迫園梨央さん(12)が選ばれた。

「みんなの mirai」をテーマに作品を募集。10個人9チームから応募があり、1次審査を通過した6個人4チームがスライドを使い、作成のきっかけや工夫した点などを発表した。大学や企業の専門家ら4人が審査を行った。

河野君が制作した「Deep Sea」は、プレーヤーを操作して深海生物を避けながら鍵を探し出すゲーム。初めての出場でつかんだ大賞に「プログラミングの先生や家族に感謝したい」と笑顔を見せた。

迫園さんの「Home work Management」は教員の負担軽減を視野に開発した宿題管理アプリ。チームでの出場を含め3回目の受賞に「頑張ってきたので大賞を取れてうれしい」と喜んだ。

迫園さんは来年3月に東京で開催される全国選抜小学生プログラミング大会に出場する。

準大賞の受賞者と作品名は次の通り。(敬称略)

【準大賞】

低学年の部〓シャイアンズ(宮崎市・宮崎大付属小2年・水野大樹、同・兒玉健太郎、同・野口優太)「野球とつくまシーン」▽高学年の部〓中原光(三股町・三股小6年)「みんなを守る防犯装置」